

【体の秘密その1】

なぜ男性は女性よりカラダが大きいのか？

なぜ、一般的に男性は女性よりカラダが大きいのだろう？

単純だが難しい質問だ。アナタはどう答えますか？米国の生物学者ジャレド・ダイヤモンドは著書「第3のチンパンジー」の中で、こう答えます。

～同年齢の男女では、平均すると男性の方が女性よりわずかにカラダは大きい。例外はあるが全体的に見れば、男性の場合、体重で20%、身長も8%ぐらい女性を上回っている。どうしてこのような差が存在するのか？その答えは私たちの社会的な構造や性的な仕組みの内に潜んでいる。狩猟採集民の社会システムでは、男性のほとんどは一人の妻を持つのが普通だが、少数の男性に関しては数名の女性を妻にしている。いわば狩猟採集民は「少しばかりの一夫多妻」だ。農業が始まる前、人は何万年もの間、狩猟採集民として過ごした事を踏まえれば男性が女性より体が大きい謎を解明してくれる。

一夫多妻の哺乳動物では、雄と雌の間にうかがえる体の大きさの平均的な違いは、一頭の雄と交尾する雌の数に関係している。一頭の雄が率いるハーレム内の雌の数が多ければ多いほど、雄雌の体格の差が大きい。最大規模のハーレムでは動物の場合、雌を遙かに上回る大きさの雄がいる。

一夫一妻のテナガザルはハーレムを持たないので両性の体の大きさに違いはなく雄と雌は同じ大きさだ。雄のゴリラは3～6頭の雌からなるハーレムをつくるのが普通である。それはゴリラの体の大きさにも現れていて、雄は雌の約2倍の体重をもつ。ミナミゾウアザラシの場合はもっと顕著で平均的なハーレムでは48頭の雌がいる。それが故に雄雌のサイズの違いは驚異的だ。体重3トンの雄の前では約320キロの雌もかすんでしまうほどである。

つまり、一夫一妻の動物の場合、どの雄も一頭の雌を獲得出来る機会があるのに対し、ゾウアザラシのような一夫多妻が当たり前の種では雄の多くが一頭の雌さえ獲得出来ない現象が起きうる。少数の有力な雄が、雌という雌を自分のハーレムに囲い込んでしまうからだ。ハーレムが大きくなればなるほど雄が互いに繰り広げる争いは熾烈になる。争いにおいては当然ながら体の大きい方が有利だから雄にとって体の大きさは実に重要だ。私たち人の場合、男性の体がわずかに女性の体を上回り「少しばかりの一夫多妻」の形態をとっているので、やはり、このパターンに一致しているだろう。

もっとも、人類進化のある時期から、男性の体の大きさより、頭の良さや人柄の方に重きが置かれるようになった。体の大きな男性が小柄な人より妻の数が多いという傾向はうか

がえないが。～

どうでしょうか皆さん、納得されましたか？人類も長い年月を経て現代のような社会システムになり男性、女性の体の大きさの違いになった訳です。・・・とするとこの先、男女の体の大きさはドンドン縮まり、いつの日か男性より女性の方が体が大きい！そんな時代が来るのかも！？